

いこまファーマーズスクール 1 期生とのティーミーティング

とき・ところ 令和 7 年 2 月 14 日（金） 15：30～17：00、市役所会議室

参 加 人 数 6 人（いこまファーマーズスクール 1 期卒業生のうち、ご都合がついた方々）

市 側 出 席 者 市長、農林課 課長 吉岡、広報広聴課 課長 古田

〔プログラム〕

- ・市長あいさつ
- ・参加者自己紹介と意見交換

〔主なご意見等〕

＜いこまファーマーズスクール(以下、スクール)や生駒市の農業等について＞

- ・半農半 X のイメージについて、日常の仕事がメインだと考えていたが、どちらかというと農業がメインだと思うので、農業に振り切るのはなかなか難しいと感じている。
- ・こうした事業に参加できて感謝している。生駒に転入してくるまでは地元の自治体職員との接触はほとんどなかったが、生駒市は職員がとても熱心にサポートしてくれて、思いが伝わってきた。
- ・農業をする中で、いかに化学肥料を使わないかということと、虫に食われることの境界が非常に難しいと実感している。
- ・いろんなチャレンジをして、ビジネス的にもっと拡大していきたい。
- ・子どものために、市の田植え体験から農業に触れ始めたが、土と触れることがとてもよくて続いている。
- ・スクールは、毎回定員を超える申し込みがありニーズはあるので、それを実践する場にうまくつなげる機会をもっと作ってもらえれば良いと思う。
- ・農業は、スクールで習ったとしても野菜を販売できるようになるまで時間がかかる。そうしたこともあまり耳にする機会がないので、スクールの中で教えてもらえるとよかった。
- ・スクールを卒業後、農家研修を受けたが、その農家に市から補助金が出ており、とてもよいことだと思うので、続けてほしい。
- ・農地のマッチングもしてほしいが、農機具のマッチングもぜひしてほしい。
- ・スクールを受講して、地域の人とつながりができたことがとてもよかった。
- ・受講生には、本格的に農業に取り組みたい人、そこまででもない人、家庭菜園レベルでしたい人など、目的が違う人がいるので、途中からコースを分けてもいいかもしれない。ただ、お互いの接点は大事だと思うので、きれいに分けるのではなく、それぞれ目的が明確になっていけば良いと思う。
- ・生駒市内に「道の駅(直売所)」があればいいと思う。
- ・スクールの卒業生も増えてきたので、みんなで何かできればよい。つながりができればよい。
- ・生駒産農産物ロゴマークは、おそらくそれほどお金もかからずに、目立つしすごく良い取組み。普通のロゴと匠とあるが、その中間があってもよいのではないかな。

・遊休農地の活用に関して、学校で講義をしてほしいとの話があった。学校でも敷地を利用して野菜を育てる取り組みをしており、子どもたちが興味を持ってくれてとても良いと思う。



生駒の農業の課題や皆さんの取り組み、市長への質問など、活発に話していただきました。